

2018年度 第2回 7月 難関大本番レベル記述模試

日本史B・採点基準 記述・記号部分

◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 古代の相撲（2点×10=20点）
- 2 中世の史料（2点×10=20点）
- 3 江戸時代のペット（2点×5=10点）
- 4 船中八策（2点×10=20点）
- 5 1940年の式典，オリンピック・万博（2点×10=20点）

*注意事項・許容解など
特になし

論述部分

◆論述問題・添削記号◆

難関大本番レベル記述模試・日本史Bの採点では、次のような添削記号を用いています。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. <□□□□> | 加点要素 |
| 2. □□□□
<u>~~~~~</u> | 表現に難あり |
| 3. □□ [∨] □□ | 文要素の欠落／脱字 |
| 4. □□ [×] □□ | 誤字（略字を含む） |
| 5. <u>□□□□</u> ^x | 内容に誤りあり |
| 6. 「□□□□」 | 設問要求に答えていない |

◆論述問題・共通の基準◆

- 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
- 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内、二重線□□→**1点**、下線□□→**0点**）
- 歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。カタカナで記すべき外国名の漢字1文字の表記は、単独でもちいる場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
- 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
- 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

3 江戸時代のペット（論述部分）

問3 日本と接点を持つヨーロッパの国がオランダだけになっていく過程

◆加要素の合計6点→6点満点◆

◎1620年代

a イギリスが（自主的に）退去した後，（幕府が）スペイン船の来航を禁止した …… 3点以内

※「イギリスが（自主的に）退去した」は1点

※「（幕府が）スペイン船の来航を禁止した」は2点

※前後関係が逆だった場合は非加点

※「島原の乱」「ポルトガル船の来航禁止」以降の出来事（これらを示唆した表現も含む）とした場合は非加点

◎1630年代

b 島原の乱〔島原・天草一揆〕がおこった後，（幕府が）ポルトガル船の来航を禁止した …… 3点以内

※「島原の乱〔島原・天草一揆〕がおこった」は1点

※「（幕府が）ポルトガル船の来航を禁止した」は2点

※前後関係が逆だった場合は非加点

問6 1690～1692年頃に猫が鼠を捕まえようとしなかった理由

◆加要素の合計4点→4点満点◆

◎「猫が鼠を捕まえようとしなかった理由」

a 徳川綱吉（の動物愛護政策）による …… 1点以内

b 生類憐みの令が出された …… 2点以内

c （飼い猫は）保護されて食料が十分に与えられていた …… 1点以内